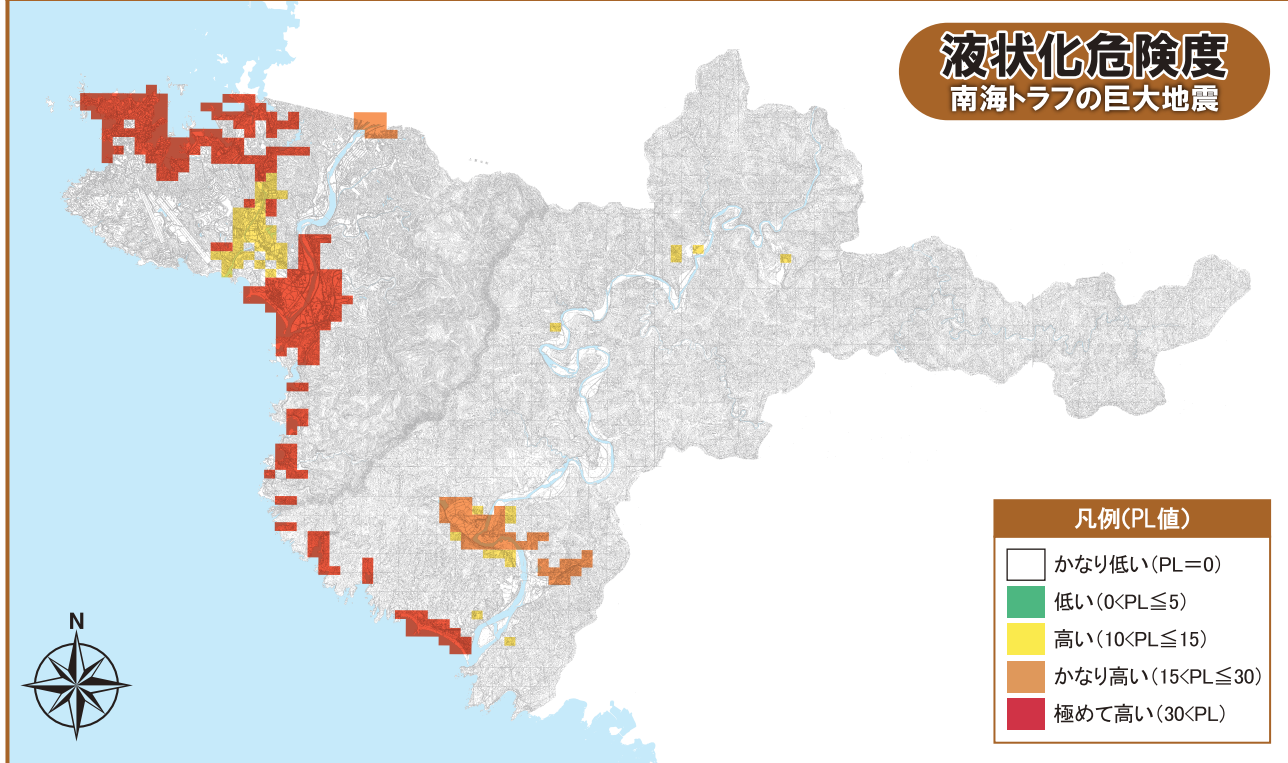
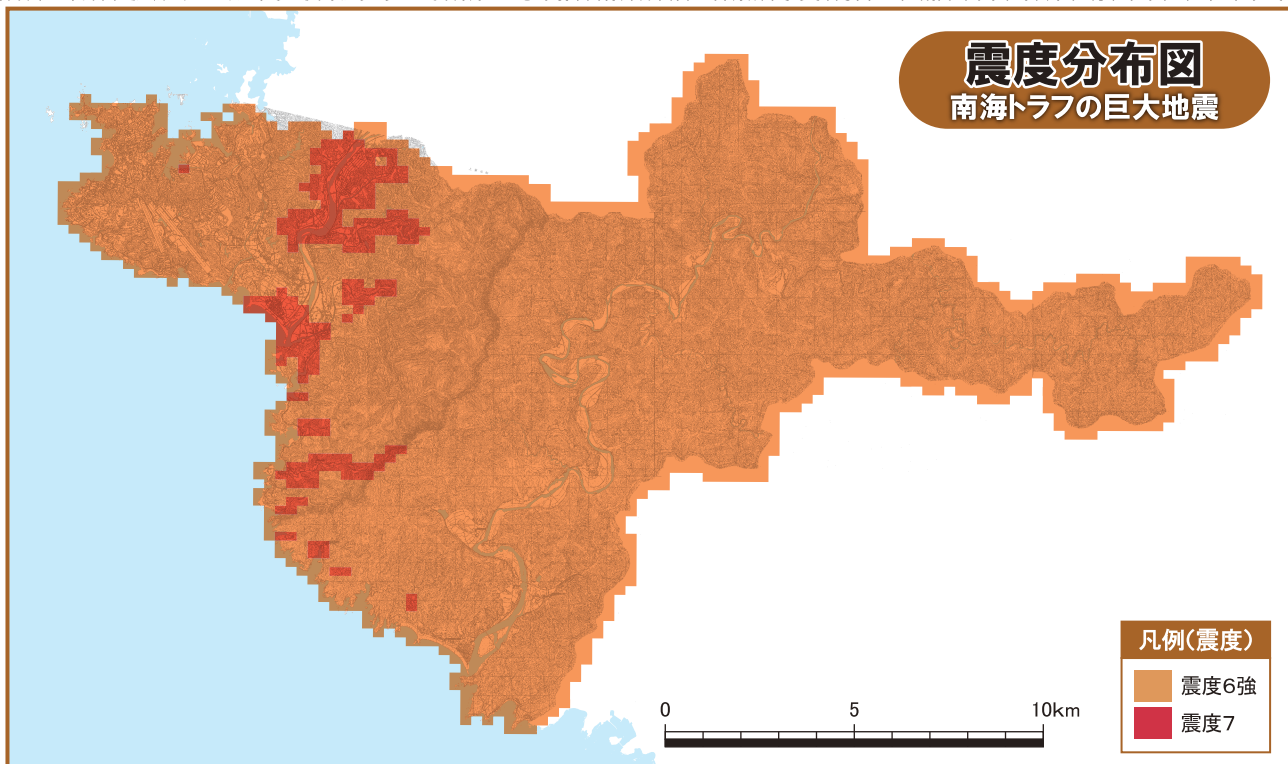
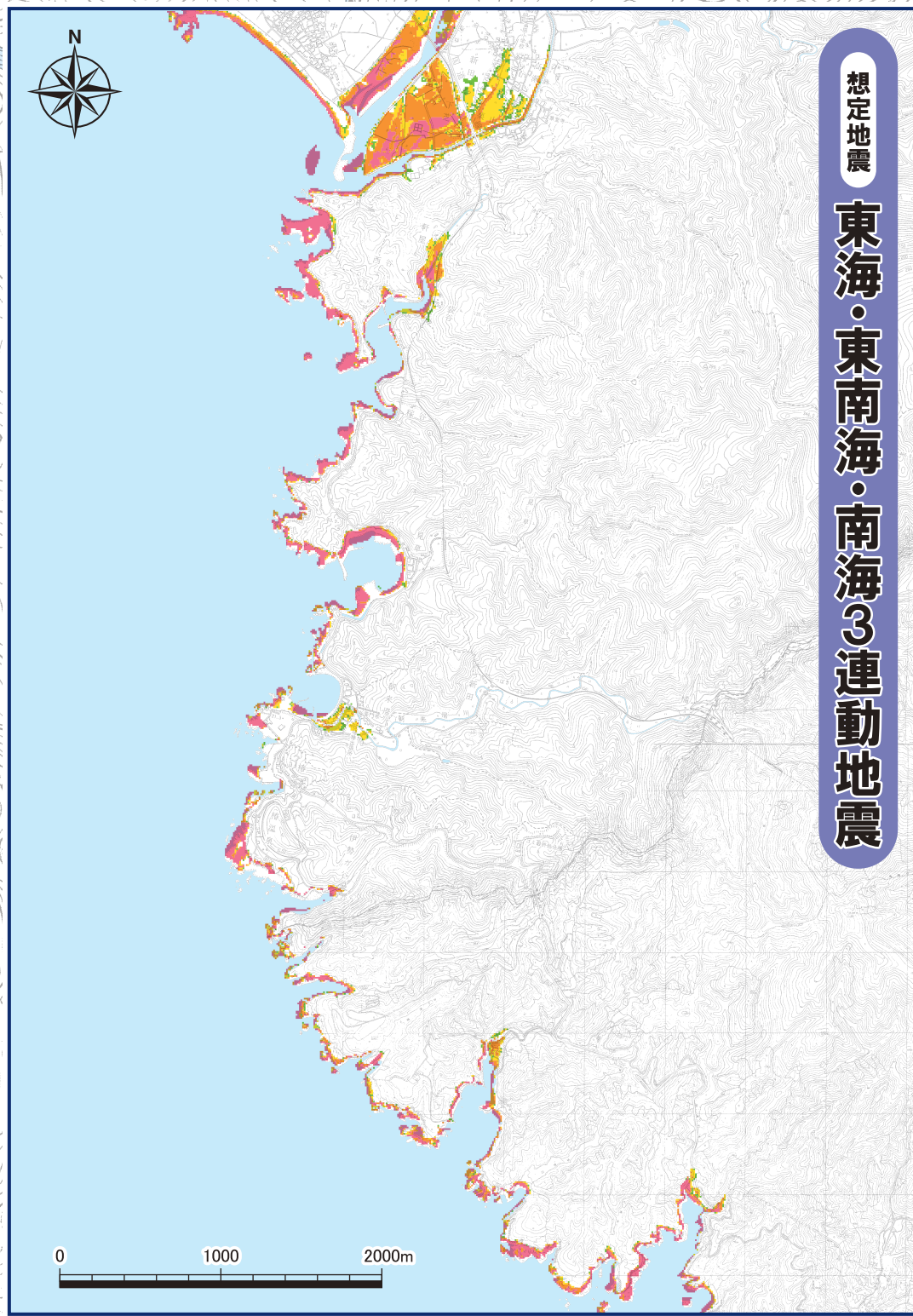




町が開設する避難所一覧

避難所名	住所	電話番号
富田小学校	白浜町十九淵545番地	45-0073
椿小学校	白浜町椿316番地	46-0352
椿園	白浜町椿1059番地の1	46-0611
市江市民会館	白浜町白置1446番地	—

初期避難場所(高台等)一覧

No.	名称	海拔(m)	緊急避難先レベル
99	富田地区1(津波避難タワー)	15	★(津波避難タワー)
100	富田地区2	28.7	☆☆☆
101	富田地区3(草堂寺横)	13.7	☆☆☆
102	富田地区4	15.6	☆☆☆
103	富田地区5	24.3	☆☆☆
104	富田地区6	13.9	☆☆☆
105	富田地区7	23.6	☆☆☆
106	富田地区8	48.3	☆☆☆
107	富田地区9(飛鳥神社敷地)	17.4	☆☆☆
108	富田地区10	17.1	☆☆☆
109	富田地区11	13.6	☆☆☆
110	椿地区1(稲荷神社敷地)	16.0	☆☆☆
111	椿地区2	29.6	☆☆☆
112	椿地区3	15.2	☆☆☆
113	椿地区4	18.4	☆☆☆
114	椿地区5	11.8	☆☆☆
115	椿地区6	14.3	☆☆☆
116	椿地区7(玉椿センターマンション前)	16.4	☆☆☆
117	椿地区8(プレゼント椿駐車場)	26.1	☆☆☆
118	椿地区9	27.6	☆☆☆
119	椿地区10	27.3	☆☆☆
120	椿地区11	12.9	☆☆☆
121	市江地区1(市江崎灯台への道)	27.9	☆☆☆
122	市江地区2(市江地蔵尊敷地)	16.0	☆☆☆
123	市江地区3(目戸地区裏山)	13.3	☆☆☆
124	空南地区1(裏山)	14.6	☆☆☆
125	空南地区2(太平洋岸自転車道)	11.3	☆☆☆
126	志原地区1(春日神社敷地)	15.8	☆☆☆
127	志原地区2(裏山)	18.0	☆☆☆
128	志原地区3(ハイロット登り口)	—	☆☆☆

津波避難の3原則

- 想定にとらわれるな!**
●このハザードマップに掲載している震度分布や津波の浸水域は、あくまでひとつの「想定」です。実際の地震や津波が想定通りになるとは限りません。
- 率先避難者たれ!**
●強い地震や、弱くとも長い地震があった後は、津波の危険性があります。津波警報などの情報待たず避難しましょう。
●家族が離れたところになった場合、迎えに行こうとすると避難が遅れてしまいます。津波から逃れた後、再会することとして、自分ひとりで避難しましょう。率先して避難することで、周囲の人の避難を促すこともできます。
- 最善をつくせ!**
●実際にどこまで浸水するかといったことは、事前にはわかりません。その時に考えられる最善を尽くして、あきらめず避難しましょう。

参照: 群馬大学大学院 片田敏孝 教授著「人が死なない防災(集英社新書)」

津波到達時間について

この表示の付近における高さ1m、3m、5m、10mの津波の到達時間を示しています。

津波対策10か条

津波から身を守る最大のポイントは、「逃げるが勝ち」です。地震発生後、津波による災害の発生が予想されたら、すぐに避難しましょう。

- 家族会議を開こう**
避難する場所を事前に家族で話し合っておきましょう。
- 小さな揺れでも油断禁物!**
小さな揺れでも津波の危険性があります。
- 引き潮がなくても注意!**
津波の前に引き潮が必ずあるとは限りません。
- 潮満のときは要注意**
水位が高くなっているため、被害が大きくなります。
- 津波のスピードは速い!**
「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあります。ただちに避難しましょう。
- 高い場所へ避難する**
海岸から「より高い」場所へ避難しましょう。
- 注意報、警報が出たら**
家族や近所に知らせ、急いで高台に避難しましょう。
- 正しい情報を聞く**
ラジオ・防災無線などで、正しい情報を聞きましょう。
- 津波はくり返し来る!**
津波はくり返し襲ってきます。波が落ち着くまでは避難しておきましょう。
- 海岸・河川に近づかない**
「注意報」や「警報」が解除されるまで、海辺や河川には近づかない。

●津波ハザードマップの想定地震●

南海トラフの巨大地震 マグニチュード9.1

科学的知見に基づき推計した最大クラスの地震です。発生頻度は極めて低いとされています。

東海・東南海・南海3連動地震 マグニチュード8.7

約90年から150年周期という高い頻度で繰り返し発生している地震です。

この津波ハザードマップは、和歌山県が平成25年に公表した「南海トラフの巨大地震」及び「東海・東南海・南海3連動地震」の津波浸水想定を基に作成したものです。

津波からの避難場所は、付近の高台です。地震の揺れを感じたときは、防災行政無線のサイレンや放送を聞いてからではなく、揺れがおきたら直ちに避難行動を開始してください。東日本大震災の教訓に学び、想定にとらわれることなく、可能な限り高い所へ避難することが肝要です。いざというときに、毎日の避難訓練や避難路の確認が有効です。

マップには、町が把握している初期避難場所(高台等)や津波避難ビル、津波避難タワーを表示しています。この他にも、自宅の裏山など近くの安全な高台への避難をお願いします。

なお、町が開設する避難所()は、地震・津波の直接の危険性が去った後、避難生活をするために使用するものです。

白浜町 津波ハザードマップ

椿地域 想定地震 南海トラフの巨大地震